

訂正のご案内

平素はLEC公認会計士の教材をご利用頂き、誠に有難うございます。

2022年12月向け一問一答問題集 管理会計論 (EL22832) に、訂正事項がございましたので、お知らせ致します。

教材作成上の不備により訂正事項が生じたことを、心よりお詫び申し上げます。今後、改善に努めてまいりますので受講生の皆様におかれましては、何卒ご了承頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

2022年12月向け一問一答問題集 管理会計論 (EL22832)

P213 平成30年第I回 問題7 ウ の解答

【誤】

「原価計算基準」四六(二)参照。

本肢の記述は正しい。直接材料費差異は、標準直接材料費と実際直接材料費との差額であり、内訳として価格差異と数量差異に分類される。価格差異は、**標準賃率と実際賃率**の差に実際消費量を乗じることで算定する。他方、数量差異は、標準消費量と実際消費量の差に標準価格を乗じることで算定する。

【正】

「原価計算基準」四六(二)参照。

本肢の記述は正しい。直接材料費差異は、標準直接材料費と実際直接材料費との差額であり、内訳として価格差異と数量差異に分類される。価格差異は、**標準消費価格と実際消費価格**の差に実際消費量を乗じることで算定する。他方、数量差異は、標準消費量と実際消費量の差に標準価格を乗じることで算定する。